

もの 食べ物をむだにしないために わたしたちにできること



ものがごみに -すてられる食べ物-

すてられる食べ物を「食品ロス」といいます。本来は食べられるものであっても、さまざまな理由によって食べ物はすてられ、ごみとなってしまっています。

平成30年度の日本全体のごみの量は4272万トンでした。その中で、食品ロスの量は、600万トンありました。これは一人一人が毎日130g（お茶わん1ぱい分のご飯）の食べ物をごみとしてすてていることになります。

この600万トンという量は、1400万人の都民全員が食べる1年間の量とほぼ同じです。食品ロスをなくすことは、ごみをへらすということに加え、大切な食料を無駄なく活用するということから、すごく大事なことです。

日本の食品ロスの状況（平成30年度）

日本の「食品ロス」
約600万トン



事業系

約324万トン



家庭系

約276万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約130g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約47kg

※ 年間1人当たりの米の消費量（約54kg）に近い量



資料：総務省人口推計(平成30年10月1日)
平成30年度食料需給表（確定値）

家庭から出る食品ロス

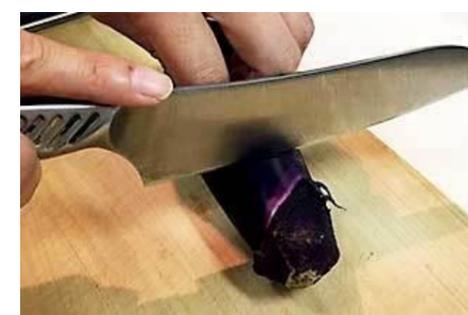
家庭から出る食品ロスについて、考えてみましょう。



テーブルに出された食品の中で、食べ残してしまい、すてられたもの



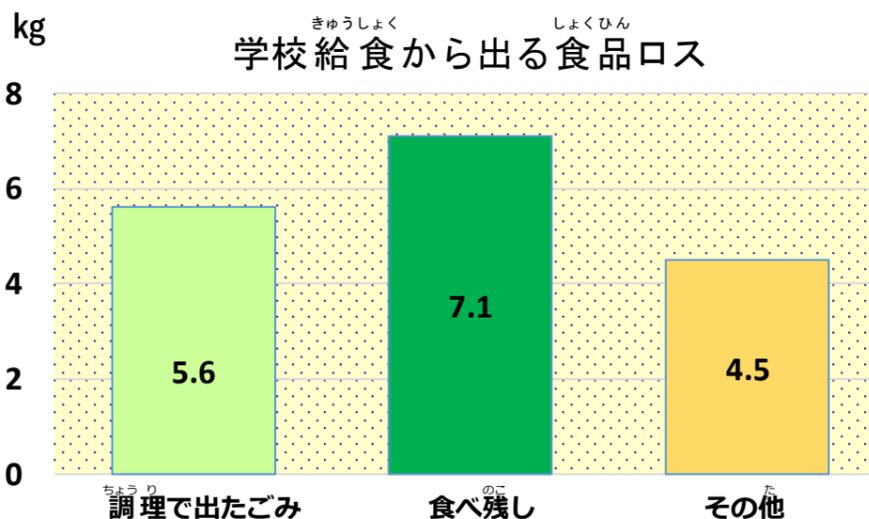
しょう味期げんがすぎたため、使われず、食べられないまますてられたもの



あつくむきすぎた野菜の皮など、取りのぞきすぎってしまったもの

学校給食から出る食品ロス

わたしたちが学校給食で出すごみの中で、一番多いのが食べ残しです。



全国の小・中学生一人当たりの給食1年間のはいき物量（平成25年）

栄養士の先生に、学校給食の食品ロスをへらすための取り組みについて聞いてみよう。

☆もっと調べてみよう☆

東京都環境局のホームページ

「食品ロスを考えよう」 <ここをクリック>

政府広報動画のホームページ

「食品ロスを減らそう」 <ここをクリック>

消費者庁のホームページ

「めざせ、食ロストレーナー！」 <ここをクリック>

◇考えてみよう

- 家庭の食品ロスや学校の食品ロスをへらすために、自分にできることは何だろう。
- 社会全体の食品ロスをへらすためには、どうすればよいだろう。